



# 精進



R2.8.31



## 「原点回帰」



～ コロナ禍の今を機に、本物の意味と大切さを考えよう ～

コロナ禍の中で新年度がスタートし、戸惑いながらも多くの発見や気づきを体験していることと思います。いよいよ成果を出す2学期が始まります。今学期は成長の糧となり、栄養分となる大きな行事が複数あります。コロナ禍のため今後も制約も多く、戸惑うことも多々あると思いますが、いずれにせよ世の中には様々なルールや条件が存在します。限られた条件の中でベストを尽くすのが鹿工生であり、与えられた条件をクリアしつつ、よいものをつくるのが**プロ**です。皆は将来それぞれのプロを目指して努力をしているのですから、力を合わせてよいものをつくっていきましょう。3年生はいよいよ「**進路実現**」の学期でもあります。このコロナ禍の中でも求人件数は現在2,400件まで達しています。これがまさに皆で築いてきている「**鹿工ブランド**」です。だからこそ奢らず、今一度足もとをしっかりと固めましょう。基本に忠実に、手を抜くことなく行動しましょう。そして「**鹿工ブランド**」を更に高めていきましょう。タイトルにある「**原点回帰**」とは、基本に立ち返って初心に戻り、原理原則に忠実になるということです。2学期スタートのこの時、これから実り多い学期にするために、まずは以下の3点をしっかりと固めましょう。



### “時を守り 場を浄め 礼を正す”

～ いいかげんなことをしない生徒たれ！ ～



#### “時を守り” ① 時間



- ・ 基本的な生活習慣の確立（鹿工は県内公立高校で最も出席率が高い学校です）
- ・ 提出物等の期限の厳守，集合時間等の遵守
- ・ やるべきことの実行と与えられた時間の有効活用（今がその時です）



※ 知識や経験は無くなることはないし、失うこともありません。ただし時代の変化に伴う「**知識のアップデート**」が必要になってきます。特に時間の浪費はせず投資をする意識を心掛けましょう。そのためにも、「見る力」から「**見抜く力**」（そのものの背景、本質を考える）を養いましょう。



#### “場を浄め” ② 清掃



・ 次々に新しく建て替えられた校舎で日々学べることへの感謝を忘れずに、校舎に磨きを掛けて次代へと引き継いでいきましょう。

・ 「清掃」は心を磨く作業とも言われています。それは①粘り強い心、②親切な心、③発見（気づく）心が育つからです。校舎に引けをとらない「心もきれいな学校」を目指して、皆が率先して日々の清掃作業に努めましょう。

・ 身だしなみは、服装や髪形などの「身なり」とあわせて、礼儀・作法を守る「立ち居振る舞い」も含まれます。常に意識しましょう。

#### “礼を正す” ③ 挨拶



・ 基本的なことの代表は「挨拶」。〈挨拶〉は近づく、〈拶〉は引き出すという意味があるそうです。挨拶を見れば、**学校の質**が見えます。

・ 相手よりも先に丁寧な挨拶→自分に対する印象が変わります。

・ 「**語先後礼**」：先に言葉を発した後で動作（礼）をすることによって、声や表情が相手に届きやすく、2度挨拶をしたことになり、丁寧さが伝わります。

・ 挨拶をしっかりとしている姿を見て「いいね」と人は感じます。



#### 障害（困難）に闘志を燃やす 〈「幸福論」：仏 哲学者 アラン〉



なにもしない人は、なにも欲しくないのである。そんな人に出来合いの幸せを持って行ったところで、そばを向くだけである。音楽を聞くより演奏したいと思う人が世の中にあふれているのも同じこと。困難にこそおもしろみがある。だから、人生の途上に障害（困難）があるたびに血が騒ぎ、やる気が燃え上がるのである。やすやすと手に入るとしたら、オリンピックのメダルなどいったい誰が欲しがらるだろうか？

※コロナ禍の今、試練は新しい価値を生み出すチャンスであるのと同時に、大きく成長できるチャンスです。